

みやけの風

第 177 号

平成16年(2004年)6月12日(土)発行
 発行：三宅島災害・東京ボランティア支援センター
 発行責任者：上原 泰男
 東京都新宿区神楽河岸1-1 セントラルプラザ 10階
 東京ボランティア・市民活動センター 気付
 TEL：03-3260-7573 FAX：03-5229-1646
 E-mail：tokyocenter@cmppo.org

梅雨に入り、毎日の洗濯は天気予報と相談です。家族の多い家では悩ましい季節ですね。今日一日の家事と仕事に追われながらも、帰島について意識し続けるというのもストレスがたまります。気持ちの持ち方が難しいですが、いろんなことが決まってくるまで、あまり焦らないことも大切ではないでしょうか。七島新聞によれば「帰島に関する意向調査」の回収率は82%を越えているとのこと。結果の発表が待たれます。

みんなの声

島民集会、ありがとう

今年もまた、多くの人に支えられて、島民集会が開催されました。

久しぶりの顔に出会うのだから、この日を心待ちにしている人たちが多い。

島民参加の『胡弓』『大正琴』『フラダンス』『(日本舞踊)望郷の歌』。みんなで踊った『あじさい音頭』。演ずる人を励まし、見る人を楽しませてくれました。

今年はじめ、日赤の方の『指圧のココロ 母心』とマッサージを受け、全身をもみほぐしていただき、幸せ気分でした。

食べ物コーナーでも、あちこちを回って、美味、珍味を楽しみました。食べ物コーナーを回り、これほど多くの方と会話ししたのは初めてでした。

ありがとうを百回も、千回も、万回も伝えてもまだまだ足りないほどの幸せをいただきました。「これが最後になるのかな～」という思いが・・・。

(八王子市上柚木 鈴木 則子)

大崎さんの桜島訪問記

火山の島から その4|最終回|

お送りしてまいりました『大崎さんの桜島訪問記』も、いよいよ最終回となりました。おのおのご家庭で、また、おひとりおひとりが、自分たちがどんな暮らしをしていきたいか？それぞれお考えを

お持ちのことと思います。力と知恵を持ち寄って、くらししていきたいですね。

(みやけの風編集担当)

前号より続く

それにしても、彼らは一人として私に同情の言葉をかけなかった。おいとまする時に、ごくあっさりとして、励ましの言葉を言っただけだった。これは何だろうか？

彼らは49年間も活動火山に島で暮らしてきたけれど、私はまだ1年も暮らしていない。本当に活動火山の島で生きていく覚悟があるのかなのか、まだ実証していない者に同情もなにも意味がないということだろうか。それとも、お互いに活動火山の島で暮らすのが当たり前前の土地柄なのだから、いまさら同情など思いも及ばなかったということだろうか。それとも……。誰もが気負うことなく、畑仕事をし、生活をしていました。

滞在2日目に、桜島の総合防災訓練がありました。大正3年1月12日の大噴火を記念したの34回目に訓練とのこと。

島の人口6,000余名のうち、4,700名以上が参加。早朝から、ヘリコプターが飛び交い、消防団・警察・医療チーム等、忙しげに活動を始めていました。

おわり

(東久留米市 大崎 興洋)

あじさいの里人材募集

社会福祉法人三宅島あじさいの会では、高齢者の個別訪問相談職員の採用のため、下記の通り「非常勤職員」を募集いたします。

1. 勤務場所

東京都港区海岸 1 - 4 - 7 島しょ会館内
東京都 2 3 区内 (高齢者個別訪問)

2. 勤務時間

午前8時45分より午後5時30分まで (休憩時間12時00分~12時45分)

3. 雇用形態

- (1) 賃金 1日 7,600円 (時間950円)
- (2) 勤務 月曜日から金曜日 (土・日曜日及び年末年始は休業)
- (3) その他 雇用保険、厚生年金等加入

4. 募集人数

2名 (2級ヘルパー資格有れば可)

5. 勤務内容

高齢者個別訪問相談

一人暮らし、又は高齢者世帯及び日中独居の高齢者の安否確認、生活援助、相談、助言及び生活指導等の業務とする。

6. その他

不明な点については、直接「あじさいの会」事務局まで、お問い合わせ下さい。

社会福祉法人 三宅島あじさいの会事務局
TEL: 03 3459-8388~9

三宅村教育委員会より

三宅村児童・生徒の帰島に関する相談をお受けします。

帰島が決定して島の学校が再開する際の、転校などのさまざまな教育に関する相談におこたえするため、三宅村教育委員会と都立三宅高等学校では、相談窓口を6月1日より開設しています。帰島に際しての教育に関わるさまざまな疑問や不安をお持ちだと思えます。お気軽にご連絡ください。

「三宅村児童・生徒帰島準備相談室」

場 所: 秋川校舎・北辰館内

受付日時: 平日 月曜~木曜

10:00~12:00

13:00~16:00

連絡先: 042-550-9263

電話または相談室窓口にて相談をお受けいたします

「三宅村高校生帰島準備相談室」

場 所: 都立三宅高等学校職員室

受付日時: 平日 随時

連絡先: 042-558-0156

電話または相談室窓口にて相談をお受けいたします (担当: 副校長 飯島)

被災市民ホットライン

被災市民専用無料電話法律相談

電話 (03) 3359-3552

土日祝日を除く毎日 午後4時から午後7時まで

法律上の困り事や悩み事の相談を無料でお受けします

また、司法書士報酬を免除することができるようになりました

詳細は、お気軽にお電話ください